



2024年3月期 第2四半期決算報告

2023年11月9日

株式会社 ニコン

1. 中期経営計画進捗

2. 2024年3月期 第2四半期決算報告

3. 2024年3月期 通期見通し

本質的な課題

完成品販売中心の
ビジネスからの進化

映像・精機事業に
並ぶ収益の柱育成

2025年のありたい姿

お客様の欲しいモノやコトをお客様にとって最適な方法で実現

全社方針

完成品・サービス・コンポーネント一体の「ソリューション提供」強化

「主要事業」の安定化

映像

精機

「戦略事業」の収益拡大

ヘルスケア

コンポーネント

デジタルマニュファクチャリング

「経営基盤」の強化

サステナビリティ戦略

人的資本経営

顧客・従業員重視のDX

技術

ものづくり

コーポレートガバナンス

価値創出

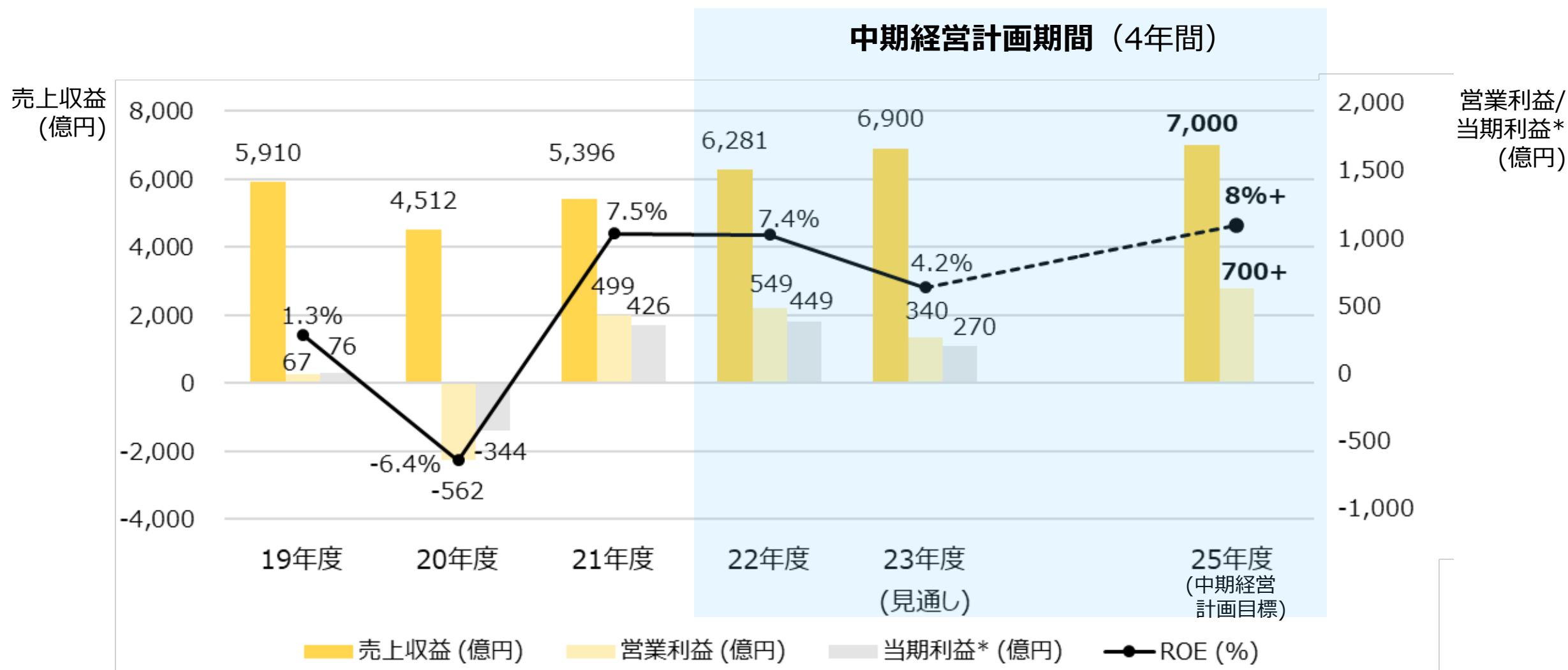
社会的価値（2030年のありたい姿）

人と機械が共創する社会の中心企業

経済的価値（2025年度目標）

売上収益 7,000億円 / 営業利益率 10%以上 / ROE 8%以上

中期経営計画2年目は収益面で足踏み 戦略展開は計画に沿って進捗



注：本資料で使用している数値は億円未満切り捨て

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

戦略面の進展と課題

クオリティオブライフ

映像

先進機能のミラーレスカメラの展開（Z 8, Z f）、交換レンズのラインアップ拡充継続

ヘルスケア

デジタル顕微鏡ラインアップや創薬支援関連サービスを拡充

インダストリー

精機

FPD 装置事業部と半導体装置事業部を統合し、精機事業本部新設、各機能横串効果で組織活性化

コンポーネント

半導体関連分野の顧客開拓は着実に前進も短期的には市況の影響あり

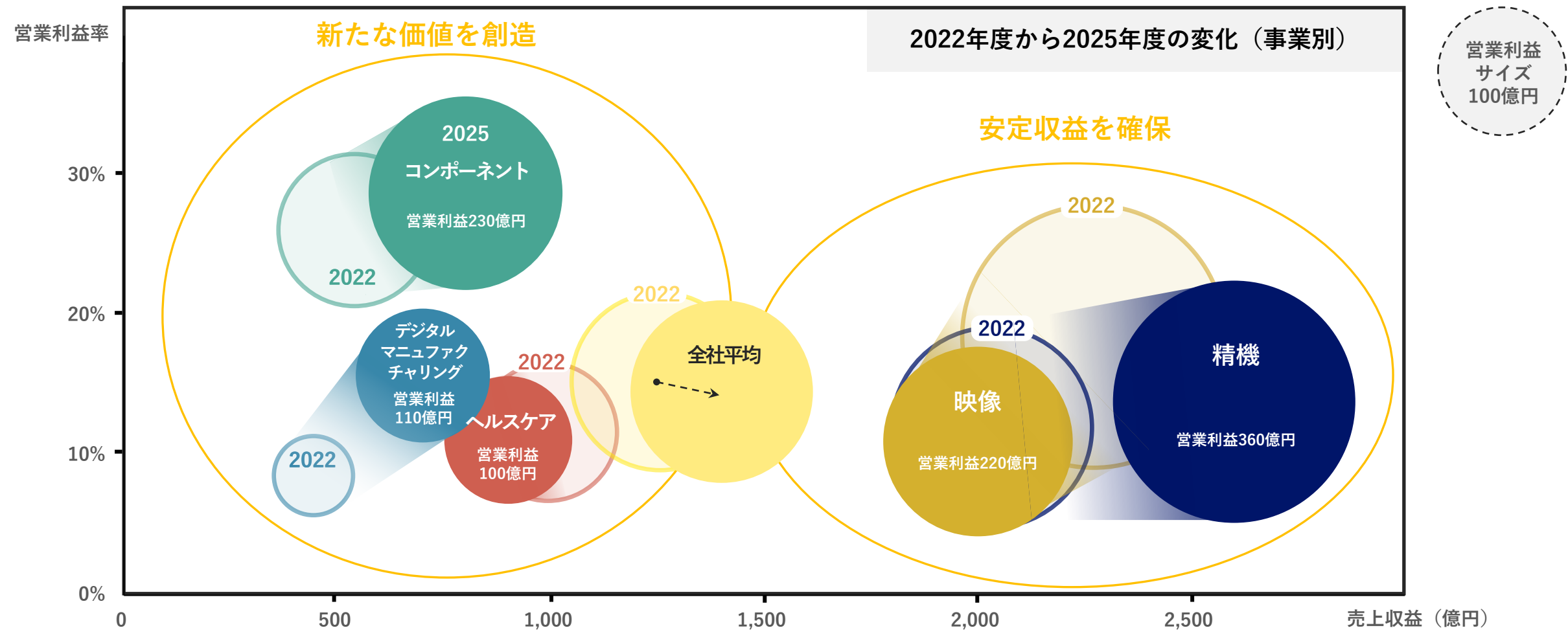
デジタルマニュ ファクチャリング

材料加工ビジネス成長に向けて、アドバンストマニュファクチャリング（ADM）事業部新設、米国での事業部
本社設立、Nikon SLM Solutions完全子会社化

映像・ヘルスケアは順調。精機は環境変化に対応。海外子会社の経営管理強化に注力

収益ポートフォリオ | 中計前半2年の実績を踏まえ2025年度の目標を修正予定

(2025年度の数値は、2022年4月公表の中期経営計画における目標値。見直し後の目標値は2024年5月頃公表予定)



光・精密という共通コアから多様な収益を創出、不確実性とリスクへの耐性強化

※ 全社平均は5事業の単純平均。全社費用等（22年度▲380億円、25年度▲320億円）控除前で表示。25年度目標の想定為替レートはUSドル115円、ユーロ130円

1. 中期経営計画進捗

2. 2024年3月期 第2四半期決算報告

3. 2024年3月期 通期見通し

上期実績 (前年比)

- 売上収益 : 3,312億円 (前年比 429億円増)
- 営業利益 : 136億円 (前年比 108億円減)
- 当期利益* : 98億円 (前年比 90億円減)
- 売上収益は、映像事業の好調な販売や、半導体のArF露光装置の販売台数増加に加え、デジタルマニファクチャリング事業でのSLM社の連結子会社化に伴い増収
- 営業利益は、FPD露光装置の販売台数の減少、コンポーネント事業の減収による減益、SLM社買収に伴う費用増加等により減益

前回予想比 (8/8)

- 売上収益 : 62億円増
- 営業利益 : 14億円減
- 当期利益* : 22億円減
- 売上収益は、ヘルスケア事業の好調や為替効果により上振れ
- 営業利益は、ヘルスケア事業での引当金の計上や、デジタルマニファクチャリング事業でのMorf3D社の構造改革関連費用等により下振れ

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

2024年3月期 上期：財務ハイライト



単位：億円	23年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	24年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	2,883	3,250	3,312	+429	+62
営業利益	244	150	136	▲108	▲14
営業利益率	8.5%	4.6%	4.1%	▲4.4P	▲0.5P
税引前利益	260	170	152	▲108	▲18
税引前利益率	9.0%	5.2%	4.6%	▲4.4P	▲0.6P
当期利益*	188	120	98	▲90	▲22
当期利益率	6.5%	3.7%	3.0%	▲3.5P	▲0.7P
FCF	▲190	-	▲259	▲69	-
為替：USD ドル ユーロ	売上収益への影響				
	134円	134円	141円	+104	+92
	139円	147円	153円	営業利益への影響	
				+18	+8

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

2024年3月期 上期：セグメント別業績



単位：億円

		23年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	24年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
映像事業	売上収益	1,145	1,350	1,376	+231	+26
	営業利益	222	250	252	+30	+2
	営業利益率	19.4%	18.5%	18.3%	▲1.1P	▲0.2P
精機事業	売上収益	833	950	960	+127	+10
	営業利益	62	20	32	▲30	+12
	営業利益率	7.5%	2.1%	3.4%	▲4.1P	+1.3P
ヘルスケア事業	売上収益	466	450	512	+46	+62
	営業利益	36	40	27	▲9	▲13
	営業利益率	7.9%	8.9%	5.4%	▲2.5P	▲3.5P
コンポーネント事業	売上収益	256	200	187	▲69	▲13
	営業利益	113	60	59	▲54	▲1
	営業利益率	44.1%	30.0%	31.7%	▲12.4P	+1.7P
デジタル マニュファクチャリング事業	売上収益	162	280	261	+99	▲19
	営業利益	▲28	▲60	▲95	▲67	▲35
	営業利益率	▲17.7%	▲21.4%	▲36.6%	▲18.9P	▲15.2P
その他（含、全社費用等）	売上収益	17	20	14	▲3	▲6
	営業利益	▲162	▲160	▲139	+23	+21
連結	売上収益	2,883	3,250	3,312	+429	+62
	営業利益	244	150	136	▲108	▲14
	営業利益率	8.5%	4.6%	4.1%	▲4.4P	▲0.5P

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 Q2：財務ハイライト



単位：億円	23年3月期 Q2実績	24年3月期 Q2実績	前年比	
			増減額	増減率
売上収益	1,427	1,731	+304	+21.4%
営業利益	91	104	+13	+14.1%
営業利益率	6.4%	6.0%	▲0.4P	
税引前利益	95	104	+9	+9.6%
税引前利益率	6.7%	6.0%	▲0.7P	
当期利益*	70	73	+3	+3.0%
当期利益率	4.9%	4.2%	▲0.7P	
FCF	▲159	▲ 253	▲94	-
為替：USD ドル ユーロ	138円 139円	145円 157円	売上収益への影響	
			+52	
			営業利益への影響	
			+7	

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

2024年3月期 上期：映像事業



単位：億円	23年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	24年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	1,145	1,350	1,376	+231	+26
営業利益	222	250	252	+30	+2
営業利益率	19.4%	18.5%	18.3%	▲1.1P	▲0.2P
レンズ交換式 デジタルカメラ	37万台	-	39万台	+2万台	-
交換レンズ	61万本	-	61万本	±0万本	-

- **前年比**：Z 8を中心としたミラーレスカメラおよびミラーレスカメラ用交換レンズの販売台数増加に加え、中高級機カメラへの注力により平均販売単価が上昇。さらに、円安効果もあり増収増益
- **前回予想比**：増収増益。予想並みで着地

2024年3月期 上期：精機事業



単位：億円	23年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	24年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	833	950	960	+127	+10
営業利益	62	20	32	▲30	+12
営業利益率	7.5%	2.1%	3.4%	▲4.1P	+1.3P
FPD露光装置	13台	-	4台	▲9台	-
半導体露光装置 新品／中古	8/8台	-	11/3台	+3/▲5台	-

- **前年比**：半導体露光装置のうち特にArF露光装置の販売台数が増加したことにより増収、一方サービス収益の減少やFPD露光装置の販売台数減少により減益
- **前回予想比**：部品販売の前倒し等でサービス収益が増加したことや、一部費用の繰り延べがあったことで増収増益

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 上期：ヘルスケア事業



単位：億円	23年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	24年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	466	450	512	+46	+62
営業利益	36	40	27	▲9	▲13
営業利益率	7.9%	8.9%	5.4%	▲2.5P	▲3.5P

- **前年比**：ライフサイエンスで北米や中国での販売が好調に推移したことにより増収も、一部顧客向け取引等に関する引当金14億円計上により減益
- **前回予想比**：ライフサイエンスの好調により増収も、上記引当金により減益

2024年3月期 上期：コンポーネント事業



単位：億円	23年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	24年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	256	200	187	▲69	▲13
営業利益	113	60	59	▲54	▲1
営業利益率	44.1%	30.0%	31.7%	▲12.4P	+1.7P

- **前年比**：半導体デバイスメーカーの稼働率低下による光学部品の需要減退に加え、EUV関連コンポーネントや光学コンポーネントの一部製品の納入に繰延が発生し、減収減益
- **前回予想比**：一部製品の販売繰延に伴い減収も、製品ミックスの変化や費用繰延もあり営業利益は想定どおり

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 上期：デジタルマニュファクチャリング事業



単位：億円	23年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	24年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	162	280	261	+99	▲19
営業利益	▲28	▲60	▲95	▲67	▲35
営業利益率	▲17.7%	▲21.4%	▲36.6%	▲18.9P	▲15.2P

- **前年比**：SLM社の連結子会社化により増収になったものの、同社の営業損失に加え、買収により取得した無形資産の償却費、産業機器事業での先行投資の増加により減益
- **前回予想比**：売上収益はADM事業で一部装置の販売が繰り延べられたことにより減収。営業利益はADM事業の減収やMorf3D社での構造改革関連費用11億円等により減益

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

注：Nikon SLM Solutions AGの全株式を取得、完全子会社化を完了

1. 中期経営計画進捗
2. 2024年3月期 第2四半期決算報告
3. 2024年3月期 通期見通し

2024年3月期 通期見通し：ポイント



売上収益

- **全社見通し 6,900億円**（前回予想から200億円上方修正）
 - 為替影響もあり、映像事業とヘルスケア事業の増収が他の事業の下振れを上回る見込みであることから、200億円上方修正

営業利益

- **全社見通し 340億円**（前回予想から90億円下方修正）
 - 映像事業：調達部品価格の上昇や販売促進費等の増加があるも、増収効果により、20億円上方修正
 - 精機事業：半導体露光装置の据付の来期への繰延に伴い、40億円下方修正
 - ヘルスケア事業：引当金の計上や調達部品価格の上昇等により、15億円下方修正
 - コンポーネント事業：EUVを中心とした半導体関連コンポーネントの来期への繰延に伴い、50億円下方修正
 - デジタルマニュファクチャリング事業：減収に伴う減益に加え、構造改革費用等の一時費用により、40億円下方修正
 - 全社費用等：上期実績等を反映し、35億円上方修正

当期利益*

- **全社見通し 270億円**（前回予想から80億円下方修正）

株主還元

- **中間配当金25円、年間配当金予想50円**（前回予想据え置き）

為替前提

- **USドル 141円、ユーロ 152円**（下期は、USドル 140円、ユーロ 150円に変更）

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2024年3月期 通期見通し：財務ハイライト



単位：億円	23年3月期 実績	前回予想 (8/8)	今回予想 (11/9)	前年比	前回予想比
売上収益	6,281	6,700	6,900	+619	+200
営業利益	549	430	340	▲209	▲90
営業利益率	8.7%	6.4%	4.9%	▲3.8P	▲1.5P
税引前利益	570	460	370	▲200	▲90
税引前利益率	9.1%	6.9%	5.4%	▲3.7P	▲1.5P
当期利益*	449	350	270	▲179	▲80
当期利益率	7.2%	5.2%	3.9%	▲3.3P	▲1.3P
ROE	7.4%	5.6%	4.2%	▲3.2P	▲1.4P
EPS	125.46円	101.09円	77.96円	▲47.50円	▲23.13円
年間配当	45円	50円	50円	+5円	±0円
為替：USドル ユーロ	135円	132円	141円	売上収益への予想影響	
				+154	+192
	141円	146円	152円	営業利益への予想影響	
				+33	+31

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

注：予想EPSの前提となる発行済株式数：前回予想約346.1百万株、今回予想約346.2百万株

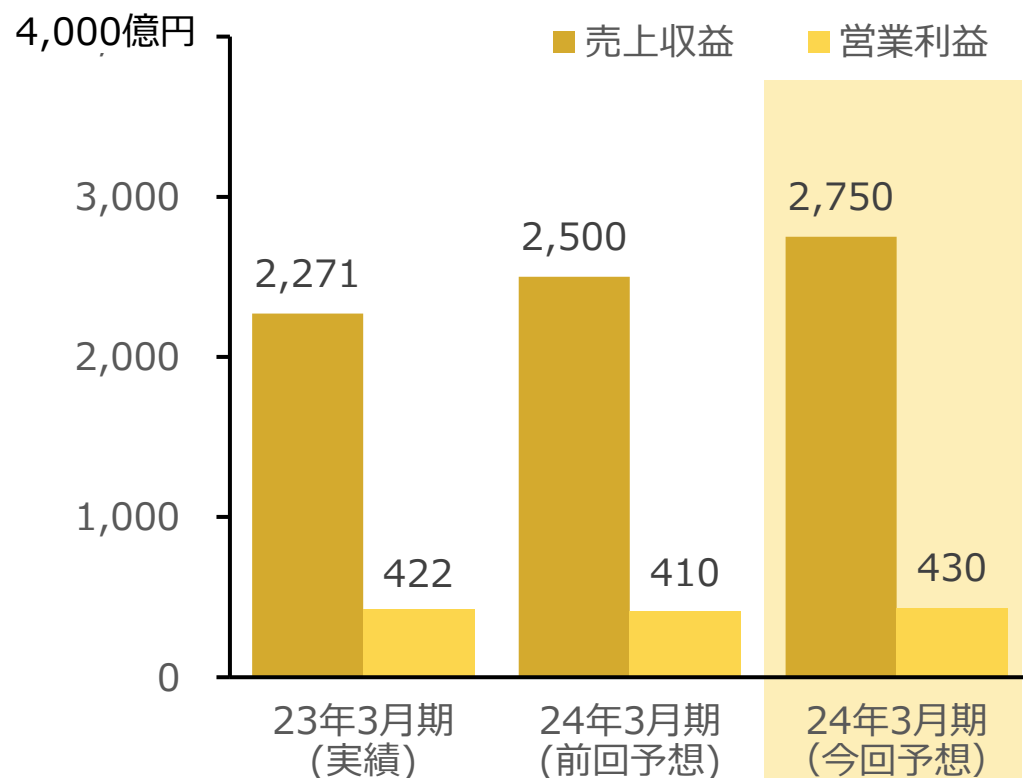
2024年3月期 通期見通し：セグメント別見通し



単位：億円		23年3月期実績	前回予想（8/8）	今回予想（11/9）	前年比	前回予想比
映像事業	売上収益	2,271	2,500	2,750	+479	+250
	営業利益	422	410	430	+8	+20
	営業利益率	18.6%	16.4%	15.6%	▲3.0P	▲0.8P
精機事業	売上収益	2,032	2,050	2,000	▲32	▲50
	営業利益	245	120	80	▲165	▲40
	営業利益率	12.1%	5.9%	4.0%	▲8.1P	▲1.9P
ヘルスケア事業	売上収益	993	950	1,030	+37	+80
	営業利益	115	110	95	▲20	▲15
	営業利益率	11.7%	11.6%	9.2%	▲2.5P	▲2.4P
コンポーネント事業	売上収益	530	530	470	▲60	▲60
	営業利益	220	200	150	▲70	▲50
	営業利益率	41.6%	37.7%	31.9%	▲9.7P	▲5.8P
デジタル マニュファクチャリング事業	売上収益	420	640	620	+200	▲20
	営業利益	▲101	▲90	▲130	▲29	▲40
	営業利益率	▲24.1%	▲14.1%	▲21.0%	+3.1P	▲6.9P
その他 （含、全社費用等）	売上収益	32	30	30	▲2	±0
	営業利益	▲353	▲320	▲285	+68	+35
連結	売上収益	6,281	6,700	6,900	+619	+200
	営業利益	549	430	340	▲209	▲90
	営業利益率	8.7%	6.4%	4.9%	▲3.8P	▲1.5P

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 通期見通し：映像事業



● 売上収益：前回予想比 250億円増収（前年比 479億円増収）

- レンズ交換式デジタルカメラの市場は、前回予想より拡大傾向
- 当社は、ミラーレスカメラの好調な販売状況を鑑み、レンズ交換式デジタルカメラおよび交換レンズの販売予想台数を引き上げ
- 販売台数の増加および為替前提の変更を踏まえ、通期予想を250億円引き上げ

● 営業利益：前回予想比 20億円増益（前年比 8億円増益）

- 調達部品価格の上昇、販売促進費等の増加があるものの、販売計画の引き上げ、為替前提の変更により20億円引き上げ

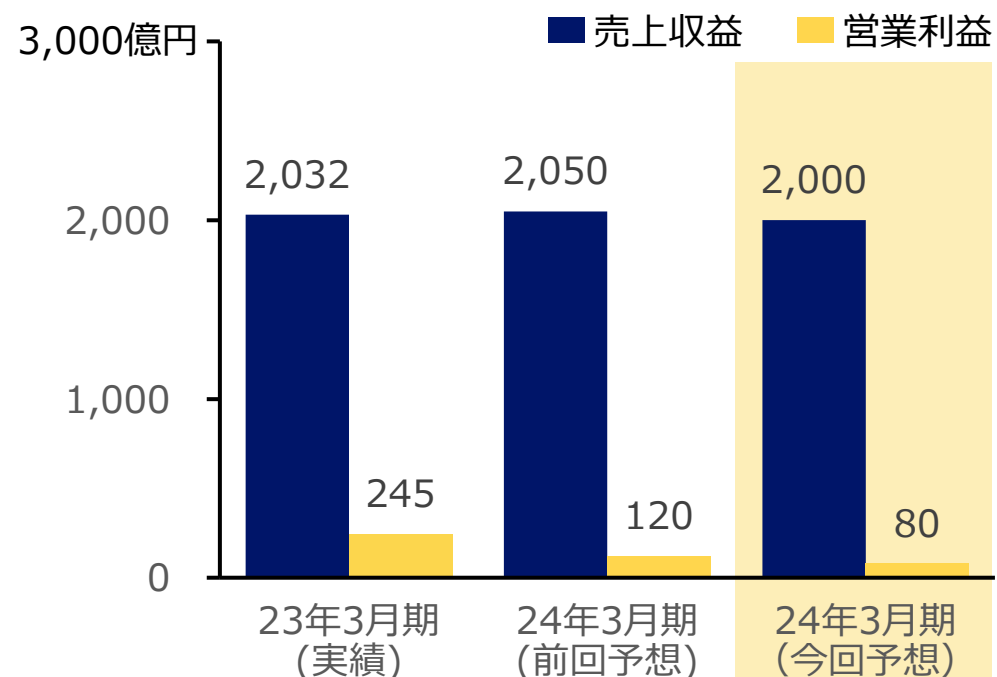
レンズ交換式デジタルカメラ（万台）

市場規模	581	580	630
ニコン	70	75	80

交換レンズ（万本）

市場規模	940	940	1,000
ニコン	116	120	125

2024年3月期 通期見通し：精機事業



FPD露光装置販売台数 (台)

市場規模 (CY22/23)	79	50	45
ニコン	29	12	13

半導体露光装置販売台数 (新品／中古、台)

市場規模 (CY22/23)	480	430	430
ニコン	27/18	33/15	30/16

● 売上収益：前回予想比 50億円減収（前年比 32億円減収）

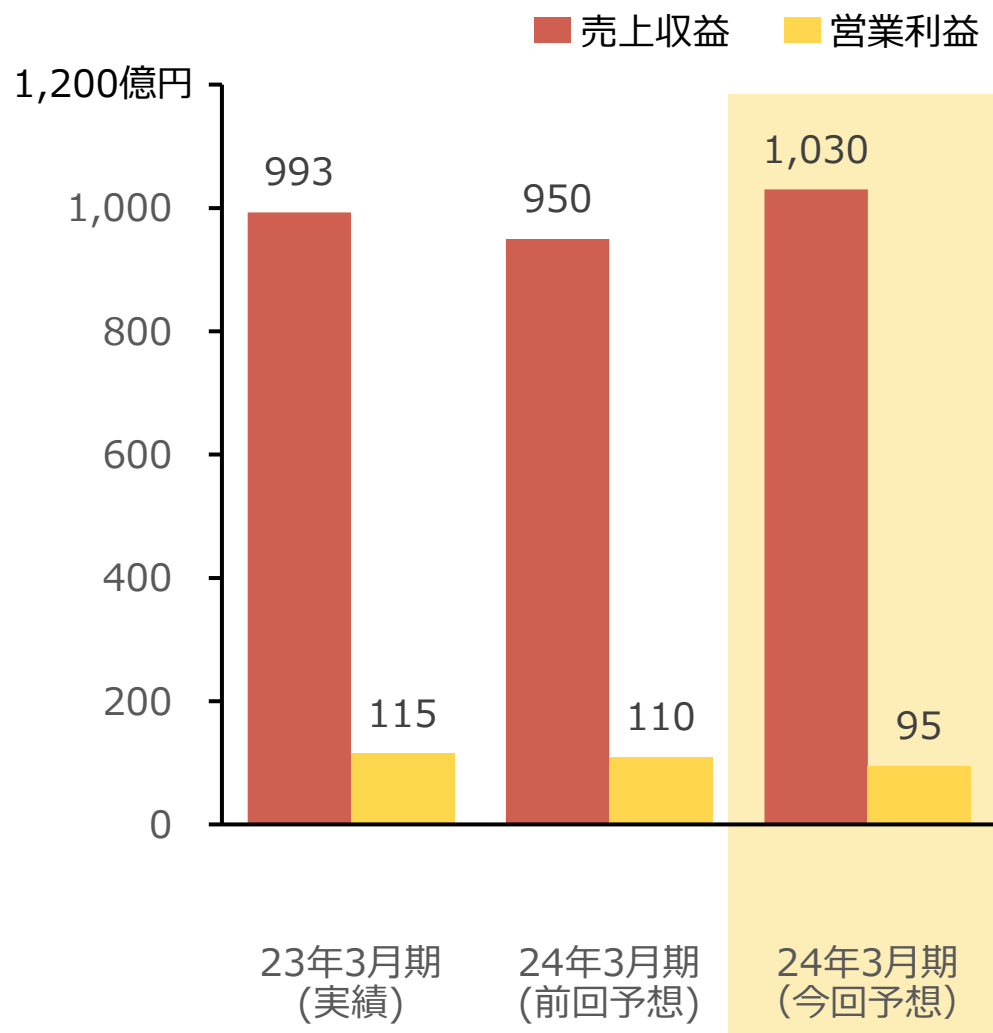
- 前回予想比では、ArF露光装置の据付の来期への繰延等により、50億円引き下げ
- 前年比では、半導体露光装置の販売台数は、主要顧客以外への拡販により増加するものの、FPD露光装置の販売台数は、顧客の設備投資の繰り延べにより大幅に減少し、精機事業全体では減収

● 営業利益：前回予想比 40億円減益（前年比 165億円減益）

- 前回予想比では、ArF露光装置の据付の来期への繰延や研究開発費の増加等によって、通期予想を40億円引き下げ
- 前年比では、FPD露光装置の販売台数減により減益。半導体装置事業でのサービス収益の減少もあり、精機事業全体でも減益

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 通期見通し：ヘルスケア事業



● 売上収益：前回予想比 80億円増収（前年比 37億円増収）

- 上期の好調な販売と為替前提の変更を反映し、80億円引き上げ
- ライフサイエンスは、民間市場の開拓や創薬支援・ソリューションの強化により、北米、中国を中心とした拡販を見込む
- アイケアは、眼科診断機器市場は安定的成長も、前年の大口商談影響剥落により、前年並みを見込む

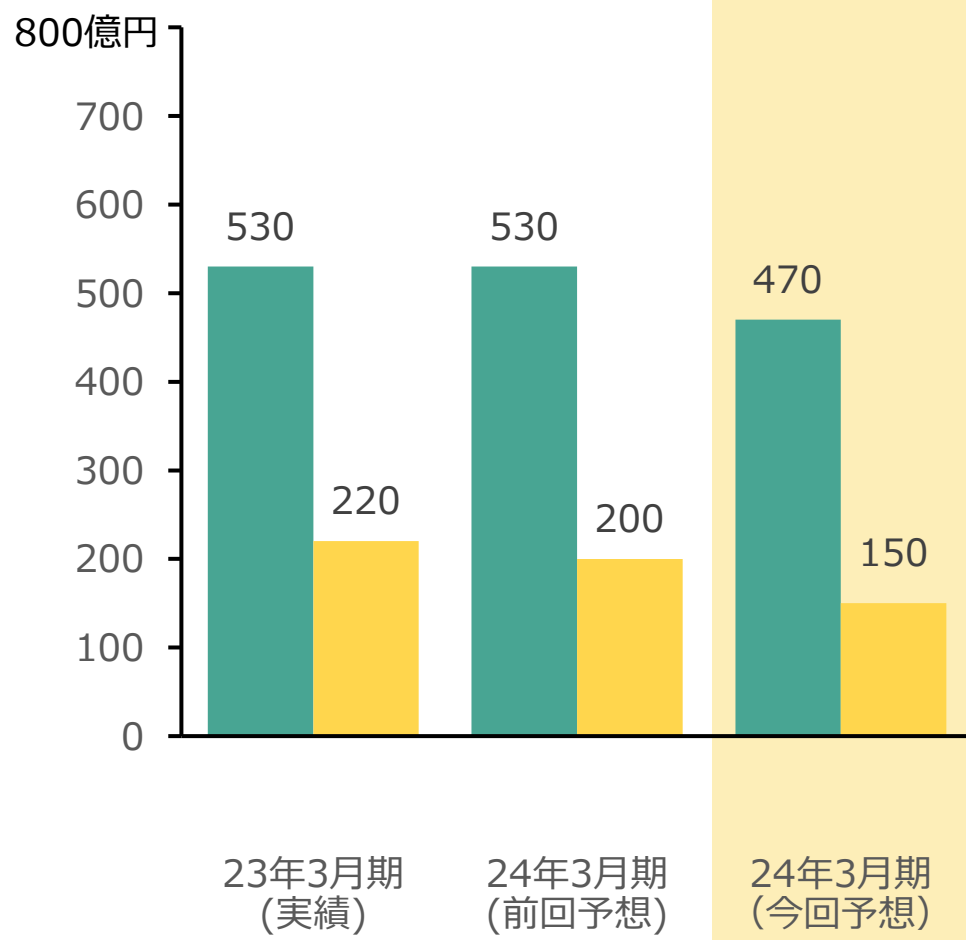
● 営業利益：前回予想比 15億円減益（前年比 20億円減益）

- 増収効果は見込めるものの、一部顧客向け取引等に関する引当金14億円計上や調達部品価格の上昇等により、95億円の営業利益を見込む

2024年3月期 通期見通し：コンポーネント事業



■ 売上収益 ■ 営業利益



● 売上収益：前回予想比 60億円減収（前年比 60億円減収）

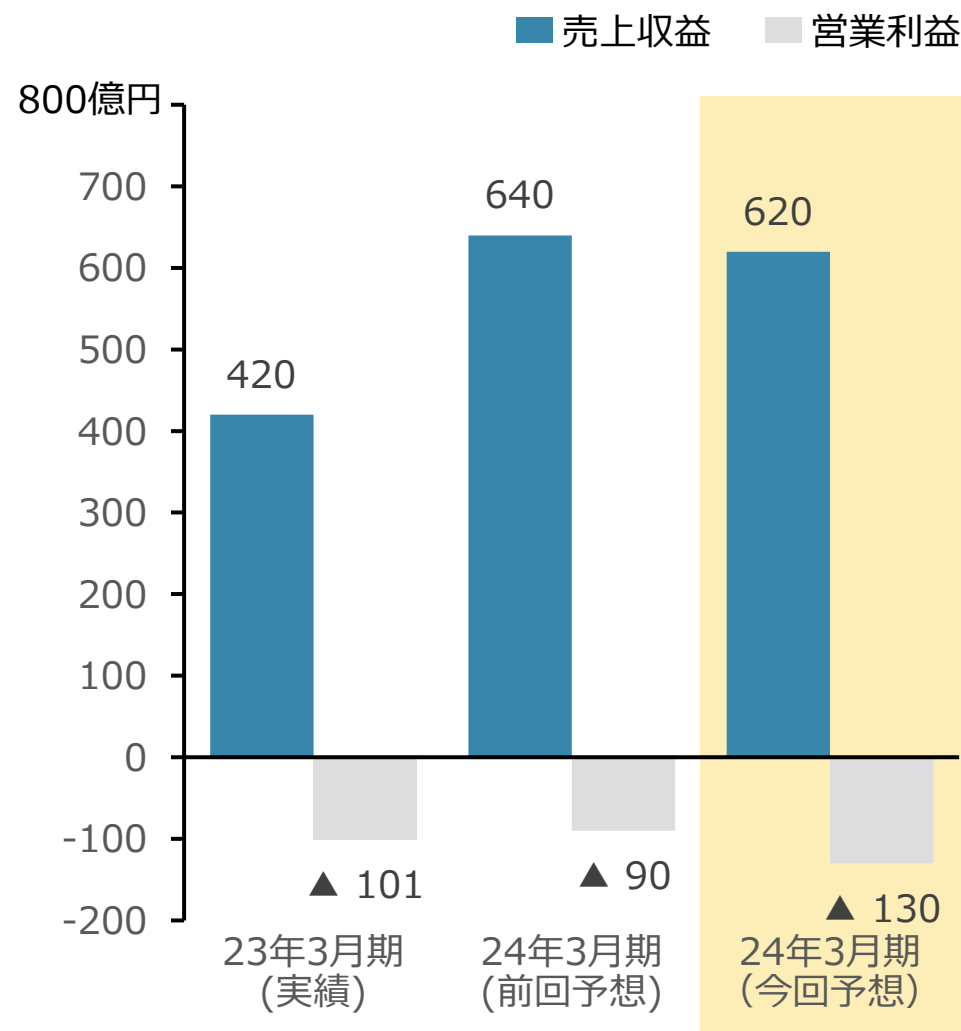
- 前回予想比では、半導体デバイスメーカーの稼働率低下による光学部品の需要減退に加え、顧客の生産調整や投資の後ろ倒しによりEUV関連コンポーネントや光学コンポーネントの一部製品の来期への繰延により減収

● 営業利益：前回予想比 50億円減益（前年比 70億円減益）

- 前回予想比では、光学部品の販売減少に加え、EUV関連コンポーネントや光学コンポーネントの一部製品の来期への繰延により減益
- 前年比では、販売減少に加え、半導体関連で量産化フェーズに入った一部コンポーネント製品の先行投資回収の一服もあり減益

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2024年3月期 通期見通し：デジタルマニュファクチャリング事業



● 売上収益：前回予想比 20億円減収（前年比 200億円増収）

- 前回予想比では、産業機器事業は概ね計画通りに推移するものの、ADM事業は顧客の投資計画見直し等により減収

● 営業利益：前回予想比 40億円減益（前年比 29億円減益）

- 前回予想比では、ADM事業の減収、Morf3D社での構造改革関連費用の計上、為替のマイナス影響、産業機器事業での製品ミックス変化により減益

<参考情報>

SLM社買収に伴う無形資産償却費見込額（年間）39億円

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値